



# タワーレコード株式会社

## PROACTIVEと複数システム間で、マスター更新や仕訳データ連携を自動化 需要予測AIプラットフォームや経費精算SaaSとの連携も内製化し、業務改善を推進

タワーレコード株式会社は、音楽ソフト販売・イベント運営・オンラインショップ・カフェなど、多様な事業を展開している。同社では、会計・人事領域を担う基幹システム「PROACTIVE」を中心に、日々さまざまなデータ処理を行っている。しかし、PROACTIVEへの仕訳データ連携やマスター更新など、基幹まわりのデータ加工・登録業務は手作業が多く、作業負荷やミスの発生が課題となっていた。そこでASTERIA Warpを導入し、PROACTIVEと複数システム間のデータ連携を自動化。これまでPROACTIVEにデータを登録するために手作業で行っていたCSV加工や仕訳データ作成が不要となった。さらに、連携処理の構築や改修も内製で対応できるようになり、外注コストの削減に貢献。需要予測AIプラットフォームや業務データ管理SaaSや経費精算SaaSなどのクラウドサービスともスピーディーに連携基盤を構築。AI活用のためのデータ抽出・変換からマスター登録、帳票処理までを自動化することで、業務改善を進めるスピードが向上している。

### 導入背景

- PROACTIVEへの仕訳データ連携やマスター更新など、基幹システム間のデータ連携は手作業が多く、データ作成・加工の負荷や入力ミスが大きな課題となっていた
- 来客数情報などの社内システムと基幹システム間のデータ連携や、Excel帳票作成・メール送信に伴うデータ加工を手作業で行っており、工数の増大とミスのリスクが課題となっていた
- 基幹システムの項目の変更や連携処理の追加には外注コストと時間がかかり、内製で柔軟に対応できるデータ連携基盤の整備が求められていた

### 選定ポイント

- PROACTIVEを含む基幹システムとのデータ連携を柔軟に構築することが可能で、会計・人事・勤怠データの加工に適した基盤であった
- REST連携や業務データ管理SaaSと接続できるアダプターなど、各種クラウドサービスと容易に連携できる機能が豊富にあり、今後のシステム拡張にも柔軟に対応可能
- PROACTIVE導入に伴い周辺システムとのデータ連携が必要となり、PROACTIVEとの連携実績が豊富なSCSK株式会社から提案されたASTERIA Warpを採用した

### 効果

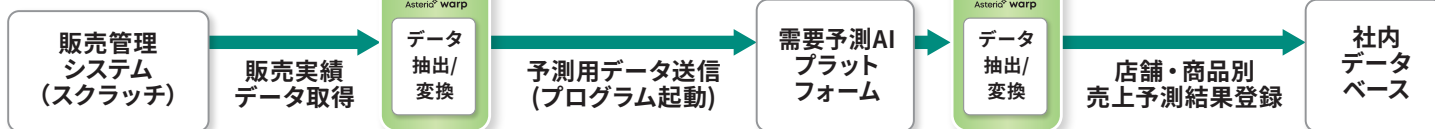
- PROACTIVEを中心とする基幹システム間のマスター更新・仕訳データ加工など、定型処理を自動化。作業時間と入力ミスを大幅に減少
- 需要予測AIプラットフォームへ登録する需要予測用のデータ作成から社内データベースへの予測結果の登録を内製で自動化
- 業務データ管理SaaSへ賃料・支払通知書のPDFデータ保管や経費精算SaaSのマスター登録を自動化。紙保存作業や手入力が必要となり、業務スピードが向上
- ASTERIA Warpを導入していたことで、新たなクラウドサービスともスムーズに連携できる。今後も新サービスの導入にあわせて、活用の幅を広げられる

### システム概要

#### ■ 基幹システム間連携



#### ■ AI連携



#### ユーザーのひと言



経費精算SaaSの導入時に、ASTERIA Warpを既に導入していたおかげで、基幹システムとのデータ連携を心配せず採用できました。新しいクラウドサービスの導入が増えていく中で、ASTERIA Warpがデータ連携の基盤としてあるのは非常に安心感があります。アイコンを組み合わせるだけでさまざまなデータ連携が簡単に開発でき、30分ほどで1つの連携処理を構築したこともあります。需要予測AIとの連携においても、予測結果の取得処理を2日程度で構築・確認まで完了できるため、便利に活用しております。プログラムを書かずにこうした仕組みを内製できる点で非常にありがたく、今後もWarpの活用範囲はさらに広がっていくと感じています。

タワーレコード株式会社 情報システム部 澤田 友広 様

#### User Profile



所在地：東京都渋谷区神南1-22-14  
 会社概要：流通小売関連事業、音楽制作/楽曲管理、運営関連事業、飲食業  
 業種：小売業  
 URL：https://tower.jp/